

消防指令システムの基本的な機能の整理に係る検討状況

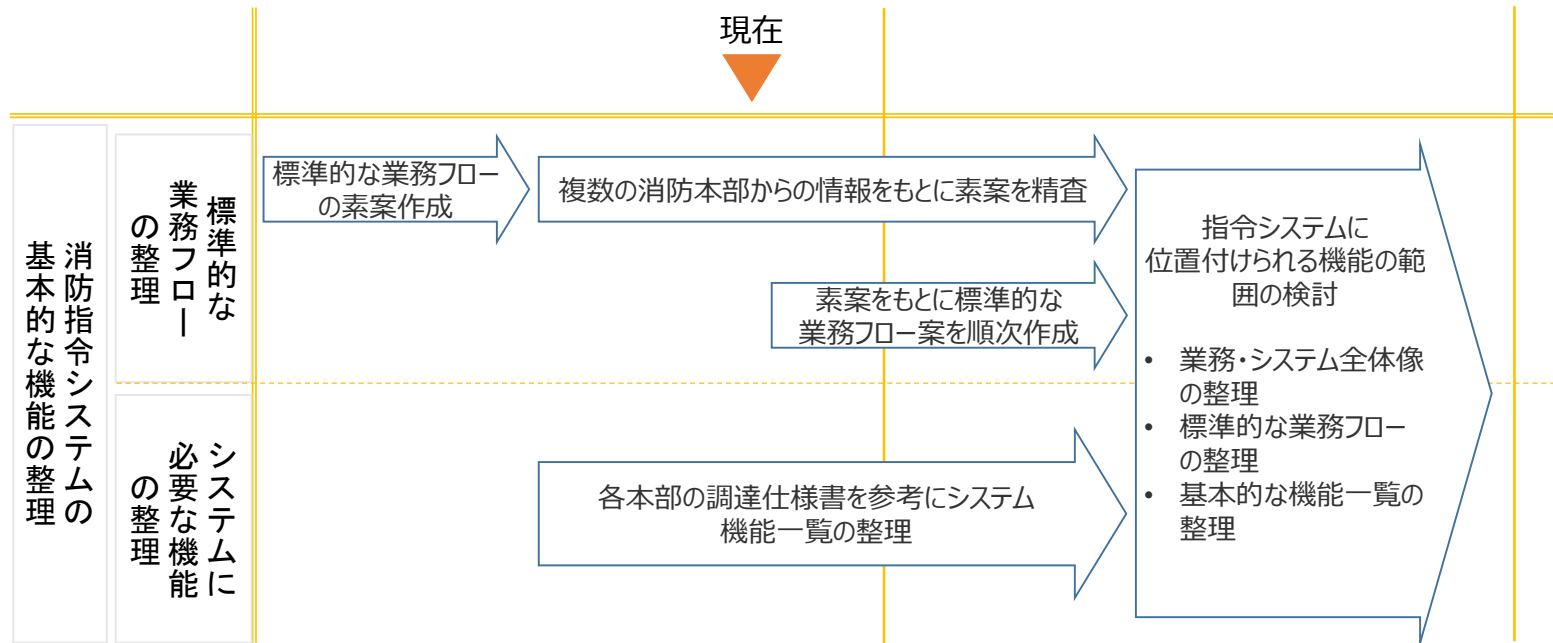
消防庁防災情報室

令和3年12月20日

取組状況①

- 消防本部における消防指令システムの調達等における活用を目的として、消防指令システムの基本的な機能の整理を実施。現在は検討のベースとなる標準的な業務フローについて、複数の消防本部からのヒアリング調査に基づき素案を作成。
- 個別の検討状況は以下のとおり。
 - ・ 標準的な業務フローの整理：
業務フローの対象を火災（救助、調査警戒）、救急、大規模災害（風水害、震災）、消防OAと設定し、複数の消防本部（全国14本部）からの情報を元に素案を作成。現在、更なる精査を実施中。
 - ・ 業務フローに対応したシステムに求められる機能の整理：
業務フローの作成と並行して、各本部の調達仕様書を参考にシステムの機能について情報収集中。

検討の進め方（現時点想定）



取組状況②

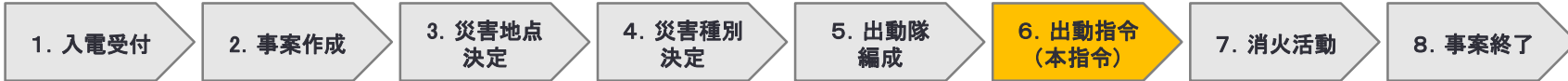
- 4つの対象業務（火災、救急、大規模災害、消防OA）の標準的な業務フローとシステムの機能一覧について、複数の消防本部からのヒアリング等をもとに作成・精査中。
- 消防本部へのヒアリングにあたっては、本部ごとの多様性が大きいと見込まれる点（確認事項）を予め想定し、標準フロー等の精査を効率的に実施。

対象業務フロー等	確認事項（例）
火災（救助・調査警戒）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予告指令の発出タイミングの違いなど全体的な業務の流れの確認 ・ 地点決定の手段や手順 ・ 隊編成における警防計画、出動計画の運用の確認 ・ 消防団編成に関わる運用や消防団との連携方法 ・ 関係各所への連絡（公開HPなどへの掲示、市役所、警察署等への連絡他） ・ 消防OAへのシステムとの連動
救急	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急安心センター事業（#7119）への取組みによる業務への影響 ・ 緊急度判定の実施状況と業務への影響 ・ 医療機関選定の主な取組内容についての確認 ・ メディカルコントロールの実施内容についての確認 ・ 救急活動におけるICT技術の活用についての確認
大規模災害（風水害・震災）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各本部（および地域）における災害計画の整備状況や災害対応タイムライン、組織体制および役割分担の違いの確認 ・ 災害発生時の消防本部における運用方法の違いの確認（本部コントロールまたは消防署コントロールの違いについて） ・ 災害発生時の業務・システムフローの違いの確認 ・ 災害情報の集約・管理業務の流れの確認
消防OA	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指令システムとの連携および情報メンテナンスの運用確認 ・ 警防・予防におけるデータ処理および活用状況の確認
指令システムの基本的な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各本部の現行システムにおける機能の洗い出し ・ 各機能別の各本部でのカスタマイズ状況の確認

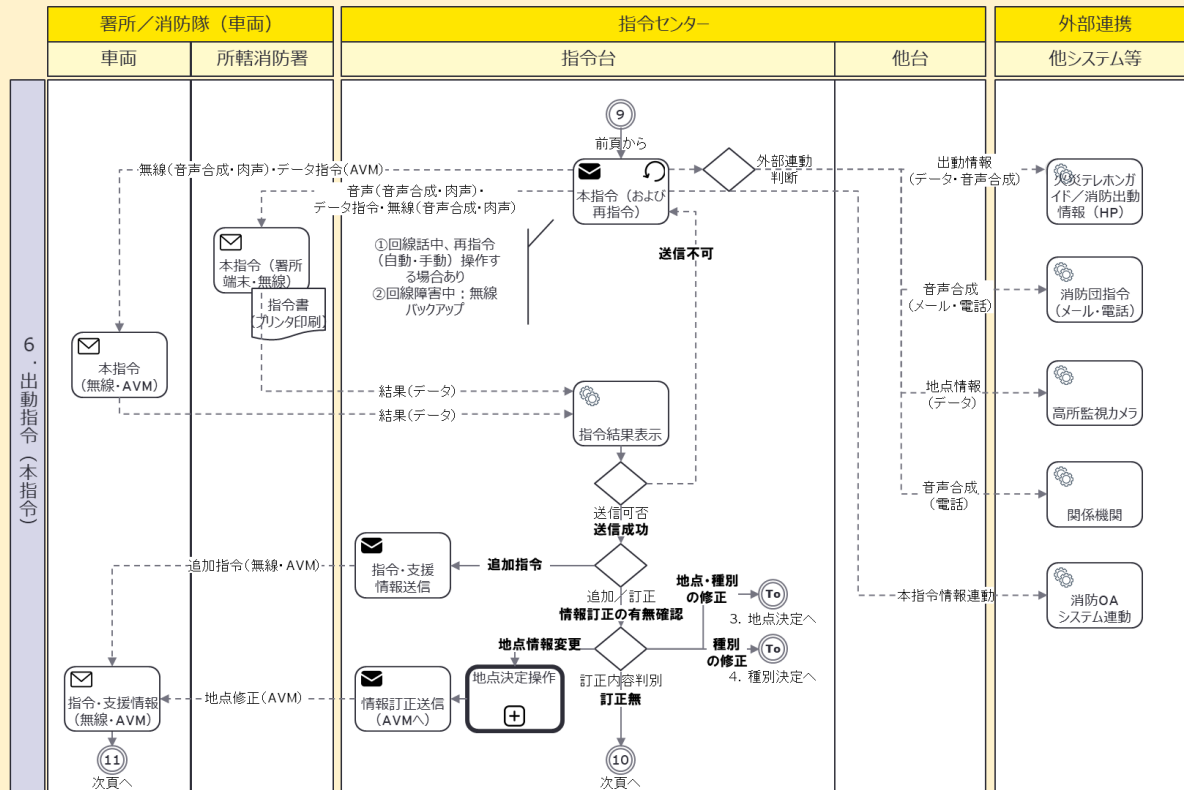
業務フローの作成イメージ

- 複数の消防本部への集中的なヒアリング調査等を通じて、標準的な業務フローの素案を作成。
- 本素案を用いて、各消防本部に対して業務全体の流れや手順およびシステム利用状況を確認することで、各本部における業務プロセスや解釈が大きく異なる部分の洗い出しを実施。検討結果を踏まえて標準的な業務フローの案を作成。

指令業務の全体像



作成中の業務フローチャートのイメージ (ご参考)



業務フローの記載粒度について

- 標準的な業務フローを検討するにあたり、各本部の業務プロセスや解釈が大きく異なる差異部分を把握できれば良い。
- そのため、今回の業務フロー作成では、手順の差異が把握できるレベルの記載粒度にとどめる。
- より詳細な機能要件の整理を目的とした、入出力レベルでの業務フロー作成は今後実施予定。

業務全体の流れや作業内容の確認

- 各本部の通信指令業務と比較して、業務の区別の違い、全体的な流れの差異、名称および過不足について確認する。
- システム（自動・ユーザー操作）またはマニュアルで対応する作業に関する差異を確認する。
- 通信指令業務において連携する消防内外のシステムとの連携方法・内容について確認する。